

21・老福連 第14回職員研究交流集

21・老福連 第14回職員研究交流集会

in 島根



地域の中心で平和と福祉の縁むすび

~高めよう人間性! 極めよう専門性! 今こそ地域の根っこにならっしゃい~

開催要綱

日時

2014年 12月13日(土)~15日(月)

会場

12月13日 / 15日 松江テルサ
14日 くびきメッセ・労働者福祉会館
松江市市民活動センター

参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
1日目夜 交流会 9,000円

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)

後援

島根県 松江市 島根県社会福祉協議会
島根県老人福祉施設協議会 松江市社会福祉協議会
島根県社会福祉士会 島根県介護福祉士会
認知症の人と家族の会 しまね小規模ケア連絡会

参加の呼びかけ

全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉施設の連絡組織として、2002年6月に発足いたしました。発足にあたって、

介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う
高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

今年は「税と社会保障の一体改革」による消費税の値上げが行われました。来年は介護保険制度・介護報酬の改定が行われます。高齢者の暮らしだけでなく私たちの暮らしも厳しくなっており公的福祉の確立の重要性が増しています。このような中で社会保障、社会福祉とはどうあるべきかを今年の交流集会でも考えて行きたいと思えます。

今年の職員研究交流集会は、「地域の中心で平和と福祉の縁むすび～高めよう人間性！極めよう専門性！今こそ地域の根っこにならっしゃい～」をテーマに島根で開催します。今年も多くの介護実践を持ち寄り、学びを深めて希望と元気を持ち帰りご縁を活かす職員研究交流集会となるよう多くの方々のご参加を、ご縁の国しまねにてお待ちしております。

日時

2014年 12月 13日(土) 13:00～17:00 交流会 19:00～
14日(日) 9:00～16:00
15日(月) 9:10～12:00

会場

12月13日 / 15日 松江テルサ
14日 くびきメッセ・労働者福祉会館
松江市市民活動センター

参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
1日目夜 交流会 9,000円

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称21・老福連)

Tel:06-6770-1600 Fax:06-6770-1611

E-mail:roufuku@siren.ocn.ne.jp HP:<http://www.roufukuren.jp/>

➤ お問い合わせ先 現地実行委員会事務局

社会福祉法人ひまわり福祉会高齢者福祉施設ひまわり園(担当:大塚)

Tel:0853-43-2633 Fax:0853-43-2747 E-mail:ohtsuka@w-himawari.or.jp

申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

参加申込締切 10月15日(水)

申込受付後、11月上旬より名鉄観光から、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

テーマ

地域の中心で平和と福祉の縁むすび

～高めよう人間性！極めよう専門性！今こそ地域の根っこにならっしゃい～

目的

介護保険制度導入時の理念である「介護の社会化」を根底から覆す制度改定が、来年度から実施されます。介護が必要と認定された高齢者 550 万人のうち要支援に認定された 160 万人を介護保険から分断し、特養待機者 52 万人のうち要介護 1・2 と認定された高齢者 18 万人を入居対象から外し、利用権を奪われた介護難民が生み出されます。介護保険施行当時「保険あって、介護なし」が懸念されましたが、今や「介護あって、保険なし」という状況が目前に迫っています。利用権を奪われた高齢者は誰が救うのか？ 社会保障制度改悪にどう立ち向かうのか？

また一方で、憲法の三大原則の平和主義を黙殺し、解釈改憲で集団的自衛権行使容認を狙う、きな臭い政権運営にも目を背けるわけにはいきません。戦後 70 年を迎えるにあたり、かつてない危険極まる情勢を認識し、平和と福祉の不可分な関係についてしっかり学び、次につなぐ集会にしたいと考えています。

プログラム

1 日目 12 月 13 日(土) 《全 体 会》

11:00 ~	受付開始 早めに受付を済ませ近くの観光(松江城、堀川遊覧船)はいかがでしょうか
13:00 ~ 13:10	歓迎セレモニー
13:10 ~ 13:30	開会挨拶・オリエンテーション
13:30 ~ 13:50	21・老福連からの基調報告 講師:21・老福連事務局長 正森 克也氏
13:50 ~ 14:50	記念講演 「やさしい憲法」 講師:岡山中庄架け橋法律事務所 弁護士 呉 裕麻氏
14:50 ~ 15:05	休憩
15:05 ~ 17:00	トークセッション「とことん憲法」 コーディネーター 特養ひまわり園 新館施設部長 須田 英男氏 ゲストスピーカー 岡山中庄架け橋法律事務所 呉 裕麻氏 スピーカー 調整中 スピーカー 調整中
17:00 ~ 17:15	2 日目会場説明
17:15 ~ 17:45	分科会説明

《交 流 会》

19:00 ~ 21:00	豪華な料理とおいしいお酒に舌鼓を打ちながら、この出会いのご縁を深めましょう。見て、聞いて、参加して楽しい催しを企画しています。
---------------	---

2 日目 12 月 14 日(日) 《分 科 会》

08:30 ~	受付開始
09:00 ~ 16:00	分科会・分散会

3 日目 12 月 15 日(月) 《全 体 会》

08:30 ~	受付開始
09:10 ~ 10:25	記念講演 「とつぜん被曝者になること」 講師:くわの福祉会 地域支援部長 寺崎 友恵氏 主任 福田 あつ子氏
10:25 ~ 10:35	休憩
10:35 ~ 11:50	記念講演 「思い出かたりは元気のもと」 講師:出雲市民病院 麻酔科部長 鈴木 正典氏
11:50 ~ 12:00	閉会式・次回開催地挨拶

12月13日(土) / 15日(月)

基調報告

13日(土) 13:30~13:50

21・老福連 事務局長 正森 克也氏

2015年度介護保険制度改定は、「地域包括ケアシステム」の名のもとに大きな舵を切ろうとしています。保険料を払っていても、まともな介護が受けられない介護保険制度。「川上から川下へ…」と例えられるように、病院や介護施設から追い出された高齢者が地域で、ボランティアに支えられる仕組みが「地域包括ケアシステム」なのでしょうか？地域の中で暮らしを守る「権利としての社会福祉」を貫く私たちの仕事について、一緒に考えましょう。

記念講演

13日(土) 13:50~14:50

「やさしい憲法」

講師：岡山中庄架け橋法律事務所 弁護士 呉 裕麻氏

私たち福祉に携わる職員は、高い人権意識が必要です。でも、その人権が大切だという考え方はどこから来たものでしょうか？すべてのルーツに繋がるのが「憲法」です。私たちや利用者の方の日常に、憲法が存在していることを気付かされるお話です。憲法の堅苦しいイメージががらりと変わることをお約束します。

トークセッション

13日(土) 15:05~17:00

「とことん憲法」

コーディネーター	特養ひまわり園 新館施設部長 須田 英男氏
ゲストスピーカー	岡山中庄架け橋法律事務所 弁護士 呉 裕麻氏
スピーカー	調整中
スピーカー	調整中

憲法の基本的な考え方を学んだ後は、これからの世代を担う若者の声に耳を傾けてみましょう。同じ福祉の現場で働く仲間のトークセッションです。特養の高齢者は個人として尊重されているの？幸せの意味って何？・・・利用者の方に接する場面を思い出し、「あるある！」と感じる一方で、ドキリとさせられるトークをお楽しみください。心に何か引っかかりを覚えた方は、明日の分科会で自分の想いを話してみましょう。

記念講演

15日(月) 9:10~10:25

「とつぜん被曝者になること」

講師：くわの福祉会 地域支援部長 寺崎 友恵氏
主任 福田 あつ子氏

2011年3月11日14時46分 あれから福島の実状は、私たちの生活は、職場環境は一変してしまいました。私たちにできることは、福島に起こったこと、そして現状を一人でも多くの方に知っていただき、同じ過ちを二度と繰り返さないこと。子どもたちの未来のために原発ゼロを目指して共に闘って行きましょう。

記念講演

15日(月) 10:35~11:50

「思い出かたりは元気のもと」～回想法は記憶の財産 長期記憶を活用した楽しく知的な楽しみ法～

講師：出雲市民病院 麻酔科部長 鈴木 正典氏

言葉を忘れない、交流能力の向上、役割を持つことに喜びを感じ、満足感、自尊心を取り戻して脳の活性化、認知症の予防や進行を防ぐ。また、介護をする職員や家族は高齢者の人生を理解して、心からの敬愛を生じ、質の高い個別ケアが生まれます。昔話、苦勞話、自慢話は「すれば、するほど艶がでる」～という楽しいお話です。